※令和4年度以降入学生用

学校番号	1003

令和　5　年度　　国　　語　　科

教科	国語	科目	古典探究	単位数	2　単位	年次	2　年次
使用教科書	「高等学校　精選　古典探究」(第一学習社)						
副教材等	「新標準古文単語300＋150」(文英堂) 「新版七訂　新訂国語便覧」(第一学習社)						

1　担当者からのメッセージ(学習方法等)

声に出し、手を動かして、文章を味わいましょう。
単語や文法などの知識をインプットし、その知識をつかいこなして読解する力をつけていきます。
また、読解したことをもとに口語訳を作成したり、鑑賞文を書いたり発表したりします。周りの人と協働して表現力を身につけます。
積極的に授業に参加し、自分の意見を伝えるとともに、他者の意見も聴いて考えを深め、広げていくことが目標です。
単語テストを中心に、小テストを行います。積み重ねが大切です。継続して取り組みましょう。

2　学習の到達目標

言葉による見方・考え方を働かせ、言語活動を通して、国語で的確に理解し効果的に表現する資質・能力を育成することを目指す。
(1)社会生活に必要な国語の知識や技能を身につけ、我が国の言語文化に対する理解を深める。
(2)論理的に考える力や深く共感したり豊かに想像したりする力を伸ばし、自分の思いや考えを広げたり深めたりする。
(3)言葉がもつ価値への認識を深め、古典に親しみ自己を向上させる。言葉を通して他者や社会に関わる態度を養う。

3　評価の観点及びその趣旨

観点	a:知識・技能	b:思考・判断・表現	c:主体的に学習に取り組む態度
観点の趣旨	生涯にわたる社会生活に必要な国語の知識や技能を身に付けるとともに、我が国の伝統的な言語文化に対する理解を深めることができるようにする。	論理的に考える力や深く共感したり豊かに想像したりする力を伸ばし、古典などを通した先人のものの見方、感じ方、考え方との関わりの中で伝え合う力を高め、自分の思いや考えを広げたり深めたりすることができるようにする。	言葉がもつ価値への認識を深めるとともに、生涯にわたって古典に親しみ自己を向上させ、我が国の言語文化の担い手としての自覚を深め、言葉を通して他社や社会に関わろうとする態度を養う。

上に示す観点に基づいて、学習のまとまりごとに評価し、学年末に5段階の評定にまとめます。
学習内容に応じて、それぞれの観点を適切に配分し、評価します。

※令和4年度以降入学生用

4　学習の活動

学期	単元の学習内容	単元(題材)の評価規準	評価方法		
			知 (a)	思 (b)	主 (c)
1	説話(一) [教材]「古今著聞集」小式部内侍が大江山の歌の事	a:語句の量を増やし、語彙を豊かにする。 b[読]:著名な和歌にまつわる話を読み、説話として語り伝えられた背景事情について理解を深める。 c:積極的に説話を読み、和歌を含んだ説話の特質について理解を深めようとしている。	定期テスト 小テスト	定期テスト 提出物	授業態度 提出物
	随筆(一) [教材]「方丈記」安元の大火	a:古典の作品や文章の種類とその特徴について理解を深めている。。 b[読/書]:時代背景や他作品との関係を踏まえながら、人間、社会、自然に対する考えを深めている。 c:作者が抱く無常観について理解し、自らの考えを深めている。	定期テスト 小テスト	定期テスト 小テスト	定期テスト 小テスト
	物語(一) [教材]「伊勢物語」渚の院	a:作品に表れている言葉の響きやリズム、修辞などの表現の特色について理解を深めている。 b[読]:登場人物の関係を押さえ、話の中で和歌が果たしている役割を理解する。 c:文語のきまりについて正確に理解し、歌物語の特徴と読み解き方を理解する。	定期テスト 小テスト	定期テスト 提出物	授業態度 提出物
	随筆(二) [教材]「枕草子」二月つごもりごろに	a:和歌の修辞や敬語について理解を深めている。 b[読]:「枕草子」に書かれている日記的な内容をふまえて、作者のものの見方や考え方を捉える。 c:平安時代の後宮生活について理解し、作者の観察眼や価値観について理解を深めている。	定期テスト 小テスト	定期テスト 提出物	授業態度 提出物
2	物語(二) [教材]「源氏物語」光る君誕生	a:我が国の文化の特質や中国など外国の文化との関係について理解を深めている。 b[読]:作品の成立した背景を理解し、文章の構成や展開、表現の特色について理解している。 c:長編物語の登場人物の言動や話の概要とその意味について理解を深めている。	定期テスト 小テスト	定期テスト 提出物	授業態度 提出物
	日記(一) [教材]「蜻蛉日記」うつろひたる菊	a:和歌の修辞や当時の結婚形態について理解を深めている。。 b[読]:自己の内面が赤裸々に描かれた日記を読み、作者の心情を読み解いている。 c:日記文学に表れたものの考え方について理解を深め、自らの考えを広げている。	定期テスト 小テスト	定期テスト 提出物	授業態度 提出物
	古代の史話 [教材]鶏鳴狗盗(十八史略)	a:漢文の訓読に慣れ、使役の句法を理解する。 b[読]:戦国時代を背景とした国の状況を押さえ、作中に書かれた話からできた言葉について知る。 c:他の作品との比較から、故事成語についてのより深い理解を得ている。	定期テスト 小テスト	定期テスト 提出物	授業態度 提出物 確認テスト
	項羽と劉邦 [教材]四面楚歌(史記)	a:漢文を読むために必要な訓読のきまりや様々な句法について理解する。 b[話/聞]:追い詰められていく項羽の心情を読み取る。 c:項羽の生き方について理解し、人間の在り方について意見を交わし、自らの考えを深めている。	定期テスト 小テスト	定期テスト 発表 提出物	授業態度 提出物
3	物語(二) [教材]「大鏡」弓争い	a:敬語の用法について理解する。 b[読]:実際の歴史に取材した物語を読み、宮中を中心とする権力者たちの姿を捉える。 c:作品にあらわれたものの見方や美意識を積極的に理解しようとしている。	定期テスト 小テスト	定期テスト 提出物	授業態度 提出物
	物語(二) [教材]「大鏡」花山天皇の出家	a:敬語の用法について理解する。 b[読]:花山院が出家するまでの言動と心理を捉える。 c:叙述の特徴や語り手の立場を整理・理解し、内容について考えを深めている。	定期テスト 小テスト	定期テスト 提出物	授業態度 提出物

※　表中の観点について　　a:知識・技能　　b:思考・判断・表現　　c:主体的に学習に取り組む態度

※　単元の評価規準[b]について…括弧内には[　話／聞、書、読　]のどれか一つを記入してください。

※　年間の各領域時間数　　・話すこと／聞くこと　…　(　4　)時間

・書くこと　…　(　6　)時間

・読むこと　…　(　60　)時間